



観客をまきこんだ名人芸に大笑い

今年も大盛況「熊日名人寄席」

熊日名人寄席が9月19日、町文化会館で開催され、高齢者を中心とした約500人が笑いの渦にのみこまれました。この名人寄席は、毎年敬老事業の一環として町が開催。今年も、落語の桂雀々、桂優々、コマ回しの三増紋之助、浪曲界の風雲児国本武春の4人がバラエティー豊かな芸を披露しました。とくに、三増紋之助の舞台では、観客の1人を舞台にあげコマの綱渡りを披露。「やっちゃん、もんちゃん」の掛け声に観客席からは大きな笑い声が沸き起こりました。



突然舞台に呼ばれ会場を沸かせた北森さんと三増紋之助



子育て中に共感できる話題で会場を笑いに包む安藤さん

子育て世代に伝える「父親の子育て」

「子どもと楽しく」をテーマにくまもと子育てトーク

町文化会館で9月20日、くまもと子育てトーク実行委員会(熊本県、熊本日日新聞社、熊本放送)が主催する「第35回くまもと子育てトーク」が開催されました。

父親の育児参加を支援するNPO法人「ファザーリング・ジャパン」代表の安藤哲也さんをゲストに「父親の子育て」についてトーク。子育て世代の参加者約280人に「地球上で父親ほど素晴らしい仕事はない、よい父親より笑っている父親になろう」と伝え、家事や育児中に共感できる話を面白おかしく話しました。

2日間の熱戦 山鹿市で県民体育祭

第69回熊本県民体育祭山鹿大会

県民最大のスポーツイベント県民体育祭が9月20日、21日の2日間、山鹿市を主会場に行われました。

「夢への挑戦 灯籠のように光り輝け 山鹿県体」をスローガンに69回目を迎えた県民体育祭には、上益城郡代表として377人(うち町内者128人)が出場。20郡市から選手、役員ら約8,000人が山鹿市に集い、練習の成果を競い合いました。

上益城郡チームの成績は男女総合得点で577.5点を獲得し20郡市中8位という結果でした。



各市町村の旗が集まり、選手宣誓が行われた開会式

今月の輝く笑顔

